

**Alexander, William. The costume of Turkey, illustrated by a series of engravings ; with descriptions in English and French. London, William Miller, (1802) 1804. 60plates (copper. hand-col.) 37.0×27.0cm <383, 126-A>**  
Hiler p. 16 Colas 782 Lipp. 1422

オスマン・トルコ帝国（1209—1922）時代後期の人々の様々な階層，職業，服飾を60枚の点刻銅版画で紹介した本書は，1802年ロンドンの W. Miller 社刊行の二刷である。鮮やかで繊細な手彩色が施されている図版は当時の服飾の風俗的背景を知ることが出来る。

スレイマン一世時代の最盛期には，トルコの領土はアジアからアラビア半島，エジプト，アフリカ，バルカン半島にまで及んだが，17世紀スルタンの治世になると衰退の一途をたどっていった。そのため，1804年に刊行された本書にはトルコ人のほかに，ギリシャ人，ユダヤ人，ベドウィン人，タタル人，アルメニア人，ボスニア人などの庶民の服飾，回教の神学者，修道僧の宗教服，サルタン，王妃，パシャ（文武高官），国会議員，官吏，大臣等ブルジョア階級の服装，近衛兵，騎兵のユニホーム，民族衣装などが登場する。

描かれた人物のポーズは無機的で単純であるが，当時のコスチュームの特性が正確なデッサンと優美な銅版手彩色で巧みに描き出されている。

Hiler によると著者はアレグザンダー（William Alexander 1767～1816）であろうと推定される。当時彼は陸軍士官学校の絵画の教師であり，後に大英博物館の版画・素描室の学芸員として優れた才能を発揮した。彼の作品のいくつかは当時の南ケンジントン博物館に所蔵されている。

本書における英語と仏語からなる解説は，当時のあらゆる階層の服装をその国の宗教，歴史，風俗習慣などの見地から正確にとらえ，人々の興味と賞賛をあつめて，一流の素描家・版画家としての地位をゆるぎないものにした。彼は本書の他にも同様の主題で The costume of China をロンドンの W. Miller 社から，又服飾風俗図鑑 Picturesque representations of the dress and manners（オーストリア <383, 134-A>，中国，イギリス <383, 133-A> ロシア <383, 138-A> トルコ）をロンドンの T. M'Leah 社と J. Murray 社から出版している。

序文によると原画は刊行の4年前に，Octavien Dalvimart が描いている。彼はドーソンダラウェイ，オリバー，モンタギュー，ターンフォードなど，トルコ研究家の調査に基づき，忠実に，実証的に描出している。銅版は Dadly と William Pool によって制作された。フォリオ版の高雅な図版は Miller 社が「他のいかなる出版物よりも優雅な点で優れたものにしようと務めた」と述べている。（守屋）